

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等		農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考		
				慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定期等	
米	水稻	一般品種平坦地	(稚苗機械移植)	19	9	9.0	4.5	左記の慣行の農業成分使用回数に畦畔 除草剤(慣行3回)は含まれない。	①、⑩、⑬	
		一般品種準高冷地(中山間地)	(稚苗機械移植)						⑬	
		一般品種高冷地	(稚苗機械移植)	21	10	9.5	4.7		⑬	
		コシヒカリ平坦地	(稚苗機械移植)	16	8				①、⑩、⑬	
		コシヒカリ準高冷地(中山間地)	(稚苗機械移植)			7.5	3.7		⑩、⑬	
		コシヒカリ高冷地	(稚苗機械移植)	20	10				⑧、⑩、⑬	
	飼料用米	一般品種		11	5	9.0	4.5		⑪	
	稲WCS	一般品種		10	5	9.0	4.5		⑪	
麦類	大麦			11	5	12.0	6.0		⑪	
	小麦			11	5	16.0	8.0		②、④、⑪	
	ライ麦	秋まき		6	3	10.0	5.0		⑫	
	キビ	露地普通栽培		1	0	7.0	3.5		⑩	
雑穀類	トウモロコシ(子実)	露地普通栽培		8	4	26.0	13.0	ポップコーン用を含む	⑩	
	スイートコーン	トンネル栽培、露地普通栽培		8	4	26.0	13.0		②	
	そば	秋そば・夏そば		1	0	1.5	0.8		⑨	
	大豆			9	4	6.0	3.0	黒大豆を除く	②、④	
小豆	大納言・普通小豆		7	3	2.0	1.0	⑨			
豆類 (種実)	ラッカセイ			4	2	3.0	1.5		④	
	その他の豆類(種実)	インゲンマメ、ソラマメ等		6	3	6.0	3.0		⑨	
いも類	カンショ	早掘り(7~8月収穫)		6	3	4.0	2.0		②	
		普通掘り(9月~11月収穫)				6.0	3.0		②、④	
	サトイモ	海老芋・露地		9	4	32.0	16.0		②	
		石川早生丸他・露地		9	4	30.0	15.0			
		在来種・露地高冷地		8	4	21.0	10.5			
	パレイショ	早掘り(トンネル栽培 4~5月収穫)・砂質土		8	4	20.0	10.0		②	
		春作普通栽培(5~8月収穫)・壤土		12	6	18.0	9.0			
	やまのいも	ナガイモ	秋冬どり、11~12月収穫		9	4	38.0	19.0		②
		自然薯			11	5	32.0	16.0		④
	その他のいも類	キクイモ、ヤーコン(塊茎)、コンニャクなど		6	3	15.0	7.5		⑨	
野菜類 (葉茎菜類)	ナバナ	秋冬どり、11~3月収穫		4	2	29.0	14.5		②	
	さいしん(油菜芯)	施設・露地(周年)		8	4	15.0	7.5		④	
	ケール	夏まき(7~8月播種)	10~3月収穫	11	5	40.0	20.0		⑩	
		秋まき(10月播種)	3~5月収穫	7	3	32.0	16.0			
		4~5月収穫	(1月播種)	10	5	40.0	20.0			
	コマツナ	施設周年		7	3	15.0	7.5		②、⑦	
		露地栽培		7	3	15.0	7.5			
	山東菜	周年		7	3	15.0	7.5		⑨	
	タアサイ	施設・露地(周年)		12	6	12.0	6.0		④	
	チンゲンサイ	春・夏・秋どり(3~11月収穫)		7	3			化学肥料使用量は1作当たり	②	
		冬どり(12~2月収穫)		5	2	10.0	5.0			
	てごろ菜	秋どり、10~11月収穫		6	3	15.0	7.5		②	
	ミズナ	秋冬どり(11月~3月収穫)		6	3			②、④	⑦、⑬	
		施設4~10月収穫		9	4	12.0	6.0			
	ルッコラ	施設春~秋収穫		5	2	8.0	4.0		⑦	
	非結球	秋冬どり(11~3月収穫)、沖積・洪積				29.0	14.5		②	
	メキャベツ	秋冬どり(11~3月収穫)、海成砂土		8	4	39.0	19.5			
	非結球レタス	年内どり		16	8	23.0	11.5		②	
		年明どり		13	6	29.0	14.5			
	サンチュ	春・夏・秋どり(4~11月収穫)		8	4				③	
冬どり(12~3月収穫)			7	3	12.0	6.0				

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
			慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定時期等
野菜類 (葉茎菜類)	エゴマ	露地普通	0	0	7.0	3.5		(4)
	シソ	露地普通	10	5	30.0	15.0		(4)
	バジル	施設普通	10	5	15.0	7.5		(7)
	コリアンダー	施設(周年)	6	3	19.0	9.5	香菜、シャンツアイ	(4)
	セルリー	露地(秋どり、11～12月収穫)	30	15	49.0	24.5		
		ハウス(冬どり、12～3月収穫)	26	13	50.0	25.0		(2)
		ハウス(春どり、3～6月収穫)	22	11	40.0	20.0		
	アスパラガス	ハウス、トンネル、露地	8	4			4月～5月収穫	(9)
		ハウス立茎長期栽培	26	13	36.0	18.0	2月～4月及び6月～10月収穫	(10)
	食用アロエ	周年(1～12月収穫)	0	0	10.0	5.0		(3)
	エンサイ (クウシンサイ)	施設春～秋収穫	10	5	34.0	17.0		(7)
	カリフラワー	秋冬どり(9～3月収穫)	18	9	28.0	14.0		(7)、(13)
	キャベツ	年内どり	15	7	30.0	15.0		
		年明どり	8	4	36.0	18.0		(2)
		春どり	16	8	36.0	18.0		(12)
		夏どり	15	7	31.0	15.5		(10)
		レッドキャベツ	8	4				
	クレソン	露地普通栽培	2	1	3.0	1.5		(10)
	シュンギク	露地普通栽培	2	1	3.0	1.5		(10)
		水掛け流し	14	7	20.0	10.0		(2)
	しょうが (根しょうが)	秋冬どり(10月～3月収穫)	11	5	15.0	7.5		(10)
		春どり(4～5月収穫)						
	しょうが (葉しょうが)	露地・施設	12	6	25.0	12.5		(9)、(10)
	すみれ菜 (スイゼンジナ)	施設・露地	6	3	36.0	18.0		(9)
	タマネギ	夏秋作(5～11月収穫)	14	7	25.0	12.5		(3)
	ツルムラサキ	冬春作(12～4月収穫)	18	9	16.0	8.0		(2)、(4)
	トチュウ	秋まき春どり	4	2	21.0	10.5		(4)
	ニラ	露地普通	6	3	10.0	5.0		(9)
	ニンニク	露地・施設	18	9	45.0	22.5		(9)
	葉ニンニク	露地・施設	12	6	20.0	10.0		(9)
	白ネギ	露地・施設	6	3	45.0	22.5		(9)
		春まき年内どり			16.0	8.0		(2)、(10)
		夏まき年明どり	24	12	20.0	10.0		(2)
	葉ネギ	秋まき夏秋どり			18.0	9.0		
		秋・冬まき(11～3月)	8	4	20.0	10.0		(1)
		春まき(4～6月)	17	8				
		夏まき(7月)			16.0	8.0		(1)、(10)
		夏まき(8～9月)	19	9	20.0	10.0		(1)
	ハクサイ	秋まき(10月)						
		秋どり(10～12月)	17	8	18.0	9.0		(15)
	フキ	秋どり(10～11月収穫)	16	8	18.0	9.0		(2)
		冬どり(12月～2月収穫)	16	8	30.0	15.0		(9)
	ブロッコリー		18	9	31.0	15.5		(2)
	茎ブロッコリー	秋冬どり(11～3月収穫)	10	5				(10)
		春どり(4～6月収穫)	11	5	37.0	18.5		(7)
	ホウレンソウ	秋冬どり(11～1月収穫)	8	4	15.0	7.5		
		秋どり	6	3	20.0	10.0		(1)
	ミョウガ	冬・春どり	4	2	18.0	9.0		(4)
		露地普通						

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等		農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
				慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定時期等
野菜類 (葉茎菜類)	メキャベツ	秋冬どり(11～3月収穫) 秋冬どり(11～3月収穫)	沖積・洪積 海成砂質	10	5	29.0 39.0	14.5 19.5		②
	モロヘイヤ	露地普通 半促成(5～10月収穫) 促成(9～6月収穫)		8 7 10	4 3 5	20.0 35.0	10.0 17.5		④ ②
	ラッキョウ	春どり(4～6月収穫)		14	7	30.0	15.0		⑦
	エシャレット	早だし(11～1月収穫) 冬春だし(2～4月収穫)		16	8	30.0	15.0		③
	レタス	年内どり 年明どり		19 15	9 7	20.0 26.0	10.0 13.0		②
	ワケギ	露地・施設		20	10	25.0	12.5		⑨
	トウガン	露地普通		16	8	25.0	12.5		④
野菜類 (果菜類)	シシトウ	露地普通 半促成(6～11月収穫、海成砂土)		22 28	11 14	35.0	17.5	トウガラシを含む	④ ②
	エダマメ	露地普通、ハウス、トンネル		11	5	10.0	5.0		④、⑩
	サヤインゲン	露地・トンネル栽培		13	6	20.0	10.0		⑨
	サヤエンドウ	キヌサヤエンドウ	露地春どり、3～5月収穫 露地秋どり、9～12月収穫 ハウス春どり、2～4月収穫	12 14 12	6 7 6	25.0	12.5		②
	サヤエンドウ	砂糖エンドウ(ハウス)	加温、12～5月収穫 無加温、3～5月収穫	20 12	10 6	19.0	9.5		②
	未成熟ソラマメ	露地・施設		12	6	15.0	7.5		⑨
	イチゴ	ハウス促成	壤質～粘質土	54	27	23.4	11.7	農業成分使用回数はランナーを切り離した以降の育苗期間及び本ぼでの栽培期間が対象	②
		ハウス促成	砂質土			34.0	17.0		
	オクラ	露地普通 トンネル早熟		12 14	6 7	28.0 28.0	14.0 14.0		⑦、⑭ ⑮
	カボチャ	露地普通 ハウス・トンネル	壤・粘質土 砂質土	18 14	9 7	20.0 28.0	10.0 14.0		④ ⑩ ②
	キュウリ	促成(2～5月収穫) 半促成(4～7月収穫) 抑制(9～12月収穫) 露地栽培		40 42 44 30	20 21 22 15	32.0	16.0		② ⑩
	スイカ	トンネル栽培(6～7月収穫) トンネル栽培(6～7月収穫) トンネル栽培(6～7月収穫) ハウス栽培(5～6月収穫)	黒ボク土 黄色土 砂質土 黒ボク土	12	6	7.0 8.0 22.0 5.0	3.5 4.0 11.0 2.5		② ⑩
	ズッキーニ	露地普通		18	9	18.0	9.0		⑦
	トマト	露地普通 ハウス無加温 促成(1～6月収穫)		40 34 42	20 17 21	21.0 24.0	10.5 12.0	(注)トマト・ナス交配用の植物生長調整剤は1花に1回かけるので、1回とカウントする	④ ②
	トマト	越冬長期(10～6月収穫) 越冬長期(12～6月収穫) 越冬長期(12～6月収穫) 抑制(10～2月収穫) 抑制(10～2月収穫)	壤質～粘質土 砂質土 壤質～粘質土 砂質土 壤質～粘質土	54 30	27 15	50.0 39.8 36.0 21.6 19.2	25.0 19.9 18.0 10.8 9.6	(注)トマト・ナス交配用の植物生長調整剤は1花に1回かけるので、1回とカウントする	⑩ ② ⑩ ②、④ ②
	中玉トマト ミニトマト	露地栽培 越冬長期(9～6月収穫) 越冬長期(10～6月収穫) 越冬長期(10～6月収穫)	壤質～粘質土 砂質土 壤質～粘質土	40 46	20 23	18.0 42.0 39.8 36.0	9.0 21.0 19.9 18.0		⑨ ⑩ ②

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
			慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定期等
野菜類 (果菜類)	ナス	露地普通(5～7月収穫)	30	15	26.0	13.0	早熟栽培を含む	(4)、(10)
		露地長期栽培(7月～10月収穫)	40	20	50.0	25.0		(10)
		促成(11～6月収穫)	58	29	52.0	26.0		(2)
	ニガウリ	露地普通	14	7	30.0	15.0		(4)
	ピーマン	露地早熟・露地普通	27	13	27.0	13.5		(4)
		施設栽培	35	17	35.0	17.5		(9)
	マクワウリ	露地普通	13	6	10.0	5.0		(7)
	温室メロン	春作(4～6月収穫)	16	8				
		夏作(7～9月収穫)	20	10				
		秋作(10～12月収穫)	18	9	14.0	7.0		(2)
		冬作(1～3月収穫)	14	7				
野菜類 (根菜類)	カブ	露地・夏どり(6～8月まき)	8	4	4.0	2.0		(2)
		露地・春どり(4～5月まき)、秋どり(9月まき)			15.0	7.5		
		トンネル、ハウス・冬春どり(10月～2月まき)	11	5	20.0	10.0		(10)
	ゴボウ	冬春どり(2～6月収穫・砂質土)	8	4	30.0	15.0		(3)
		秋冬どり(10～12月収穫・黒ボク土)			13.0	6.5		
	ダイコン	年内収穫 黒ボク土、黄色土	10	5	16.0	8.0		(2)
		1～3月収穫 黒ボク土、黄色土	14	7	29.0	14.5		
		年内収穫 砂質土	10	5				(10)
		1月～5月収穫 砂質土	14	7	34.0	17.0		
	葉ダイコン	施設春～秋収穫	7	3	15.0	7.5		(7)
	ニンジン	春どり(4～5月収穫)	4	2	15.0	7.5		(2)
		冬どり(10月～2月収穫)	7	3	16.0	8.0		
	ハツカダイコン	施設春～秋収穫	5	2	10.0	5.0		(7)
	レンコン	露地	7	4	40.0	20.0		(15)
野菜類 (その他)	まこもたけ	露地	3	1	23.0	11.0		(11)
	タケノコ	露地普通	1	0	33.0	16.0		(13)
その他の作物	ゴマ(子実)	普通露地栽培	2	1	10.0	5.0		(10)
	ひまわり(子実)	露地(子実用)	3	1	10.0	5.0		(11)
工芸作物	茶		12	6	40.0	20.0		(1)、(4)、(15)
果樹	温州ミカン	極早生温州-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	14	7	20.0	10.0	作業道がある場合は、作業道が占める割合について慣行の化学肥料使用量を削減する。	(2)、(4)、(7)、(10)
		極早生温州-普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			25.0	12.5		
		早生温州-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	15	7	20.0	10.0		
		早生温州-普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			25.0	12.5		
		普通温州-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	17	8	22.0	11.0		
		普通温州-普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			30.0	15.0		
	ハウスミカン	早期加温夏芽母枝	14	7	17.0	8.5		(2)、(7)
		後期加温春芽母枝	10	5	20.0	10.0		

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
			慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定時期等
果樹	中晩柑類	甘夏-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量5t/10a)	14	7	35.0	17.5	作業道がある場合は、作業道が占める割合について慣行の化学肥料使用量を削減する。	②、④、⑦、⑩
		甘夏-普通土壌						②、④、⑩
		夏みかん(露地)	14	7	35.0	17.5		⑨、⑩
		ネーブルオレンジ	21	10	35.0	17.5		②、④、⑩
		清見 (栽植本数60本/10a、目標収量3t/10a)	19	9	30.0	15.0		②、④、⑦、⑩
		八朔	19	10	30.0	15.0		②、⑩
		レモン	17	8	30.0	15.0		
		ハウスレモン	20	10	35.0	17.5		③、⑩
		日向夏 (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	16	8	30.0	15.0		②、④、⑦、⑩
		はるか (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	16	8	30.0	15.0		④、⑦、⑩
		伊予柑 (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	21	10	35.0	17.5		
		ボンカン (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	18	9	30.0	15.0		②、④、⑦、⑩
		はるみ (栽植本数60本/10a、目標収量3t/10a)	18	9	30.0	15.0		
		不知火	17	8	30.0	15.0		②、④、⑩
		ハウス不知火	19	9	30.0	15.0		
		ダイダイ	16	8	35.0	17.5		③、⑩
		文旦(露地)	17	8	30.0	15.0		
		河内晩柑(露地)	17	8	30.0	15.0		⑨、⑩
		グレープフルーツ(露地)	19	9	30.0	15.0		
		スタチ	16	8	28.0	14.0		④、⑩
		黄金柑	16	8	28.0	14.0		
		ユズ(露地)	14	7	28.0	14.0		⑥、⑩
		せとか	18	9	30.0	15.0		
		きんかん(寧波金柑 露地)	10	5	8.0	4.0		⑨、⑩
		はるひ(露地)	16	8	30.0	15.0		
	ブルーベリー	露地	10	5	8.0	4.0		④、⑪
	食用桑	露地	7	3	15.0	7.5		⑨
	ブラックベリー	露地	6	3	15.0	7.5		⑨
	イチジク	柵井ドーフィン・施設	18	9	20.0	10.0		②
			11	5				⑨
おうとう	露地	20	10	15.0	7.5	⑨		
カキ	次郎・四ツ溝(肥沃土壌)	18	9	17.0	8.5	②		
	次郎・四ツ溝(普通土壌)			20.0	10.0			
ウ メ		13	6	15.0	7.5	②		
スモモ		14	7	14.0	7.0	②		
モ モ		20	10	12.0	6.0	②		
キウイフルーツ		14	7	18.0	9.0	②		
クリ		10	5	12.0	6.0	④		
くるみ	露地	6	3	8.0	4.0	⑨		

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
			慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定時期等
果樹	ナ シ	幸水・豊水	29	14				
		新水・喜水	34	17	20.0	10.0		②
		ハウスナシ	18	9				
	びわ	田中・露地	8	4	25.0	12.5		⑨
	ブドウ	ハウス栽培	20	10	8.0	4.0		
		屋根掛け栽培	25	12	10.0	10.0		②
	リンゴ		28	14	15.0	7.5		⑤
	オリーブ	露地	14	7	16.0	8.0		⑮
花き類・観葉 植物	コデマリ	露地	12	6	20.0	10.0	2年生作物として栽培。	⑪
		無加温ハウス	8	4	16.0	8.0		
			0	0	1.8	0.9		⑮
	ポポー	露地	0	0	17.0	8.5		⑮
	フェイジョア	露地	35	17	25.0	12.0		
	トルコギキョウ	ビニル加温促成	35	17	25.0	12.0		⑪
		ビニル無加温半促成	35	17	25.0	12.0		
		露地	35	17	25.0	12.0		
バラ	トルコギキョウ	加温超促成栽培	41	20	12.0	6.0		
		加温促成栽培	41	20	12.0	6.0		⑬
		無加温半促成栽培	41	20	12.0	6.0		
	バラ	ハウス加温	61	30	46.0	23.0		⑬

※準高冷地(中山間地):標高100～300m
※高冷地:標高300m以上
※合成樹脂フィルム上に薬剤を塗布した防除資材(ラノーテープ)は、使用した回数をカウントする(野菜類で適用)

- ① 平成15年度策定

② 平成16年度追加・見直し

③ 平成17年度追加

④ 平成18年度追加・見直し

⑤ 平成19年度追加

⑥ 平成20年度追加
- ⑦ 平成21年度追加・見直し

⑧ 平成23年度追加

⑨ 平成24年度追加・見直し

⑩ 平成25年度追加・見直し

⑪ 平成27年度追加・見直し

⑫ 平成28年7月追加・見直し
- ⑬ 平成30年度追加

⑭ 令和元年度見直し

⑮ 令和4年4月追加・見直し

⑯ 令和5年3月追加・見直し

⑰ 令和5年5月追加・見直し

⑱ 令和7年5月追加・見直し